

学生議会

質問通告書一覧

令和3年12月24日

【発言の順番】

- | | | | |
|-----|-----------|-------------------------------------|------------------------|
| 1番 | 平坂中学校 | <small>ひらまつ さあや</small>
平松紗彩さん | 「男性の育児休業取得率について」 |
| 2番 | 吉良中学校 | <small>い ど えい た</small>
井土瑛太さん | 「スポーツがより盛んな西尾市にするために」 |
| 3番 | 佐久島しおさい学校 | <small>ほそかわ き き</small>
細川希咲さん | 「誰もが考え、行動できる西尾市にするために」 |
| 4番 | 鶴城中学校 | <small>ほんだたいち</small>
本多太一さん | 「西尾市民の憩いの場について」 |
| 5番 | 一色中学校 | <small>さ さ き せ な</small>
佐々木聖流さん | 「安心安全な一色町」 |
| 6番 | 幡豆中学校 | <small>やまものぞみ</small>
山本希美さん | 「暮らしやすい街づくりについて」 |
| 7番 | 寺津中学校 | <small>みやちえいた</small>
宮地瑛大さん | 「西尾市の未来について」 |
| 8番 | 福地中学校 | <small>こまついさな</small>
小松勇夏さん | 「歴史の保全」 |
| 9番 | 東部中学校 | <small>にいのみゆうな</small>
新家侑奈さん | 「西尾市の環境美化について」 |
| 10番 | 西尾中学校 | <small>さかきばらる い</small>
榊原琉意さん | 「市民の健康意識を高めるために」 |

学生議会 質問通告書

【中学校名：平坂中学校】

氏 名	ひらまつ さあや 平松 紗彩	学年等	3年 6組
-----	-------------------	-----	-------

テーマ	男性の育児休業取得率について
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は最近、学校の公民の問題集で男性の育児休業取得率の低さを知りました。そこには、男性の取得率は6.1%、女性の取得率は82.2%と示されていました。私は以前、アメリカやノルウェーなどの男性の育休取得率についてのニュースを見たことがあったので、日本がこんなに低いとは思わず、とても驚きました。</p> <p>また、他の資料の6歳未満の子どもを持つ夫婦の一人当たりの育児時間を見ると、男性は1日あたり約50分、女性は約230分と示されていました。私は女性の方が子どもと接する時間は多くなるという認識はありましたが、これほどの差があるとは思っていませんでした。</p> <p>そこで、男性の育児についてインターネットで調べてみました。すると、自分がワンオペ育児状態になっていると感じる女性は6割超、毎日育児に参加していると答える男性の割合は約3割という事実を目の当たりにしました。これらのことから、育児の負担が女性に偏っていると感じました。</p> <p>私は、男性と女性はお互いに協力して負担をわけ合いながら育児をした方がよいと思います。そして、自分の将来を考えたときに、旦那さんと協力し合って育児を進めていく、そんな社会が広がっているといいな、また、そんな社会を次の世代に残したいと思いました。そこで、男性と一緒に育児を行うには、今より男性の育休取得率を上げる必要があると感じます。</p> <p>そこで、以下の3つの質問をします。</p>
質 問	<p>1 今の西尾市全体の男性の育休取得率はどのくらいですか。 (再質問) 西尾市職員の男性の育休取得率はどのくらいですか。</p> <p>2 市長さんが以前「育休」を取得されていましたが、なぜ取得したのか理由を教えてください。また、取得した後何か変化はありましたか。</p> <p>3 西尾市は今、男性の育休取得率を上げるため、どのような政策を行っていますか。また、今年育児・介護休業法が改正されましたが、今後どのように取り組んでいく予定ですか。 (再質問) 西尾市役所では、男性職員の育休取得率を上げるため、どのような政策を行っていますか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：吉良中学校】

氏名	井土 瑛太 <small>いど えいた</small>	学年等	2年 5組
----	--------------------------------	-----	-------

テーマ	スポーツがより盛んな西尾市にするために
現状や課題 意見・提案事項	<p>僕はバスケットボールをやっていて、よく市内の体育館を利用します。しかし、いつも僕と同じ年齢層の人や20代から30代の人しかアリーナを利用していないと感じています。また最近祖母から、運動不足が原因で病気に罹ってしまった人がいると聞きました。僕は年配の方々がスポーツや運動をされているのを見たことはあるのですが、種目は卓球やグラウンド・ゴルフくらいしか見たことはありません。</p> <p>その一方で、名古屋市は西尾市よりスポーツ施設の数が多く、利用者数も西尾市と比べ100万人近く差があります。これは名古屋市の人口が単に多いただけでなく、スポーツ施設数が多いからなのではないかと思います。また名古屋市では、年配の方向けに社交ダンスや太極拳など、さまざまなスポーツ教室を開催していることが調べて分かりました。</p> <p>西尾市は、今年4月に、スポーツで元気になるまちを築くために「スポーツ都市」を宣言したと聞きました。そこで、西尾市ももっと多くの方がスポーツ教室に参加したいと思うように、より多様な教室を開催し、スポーツを通して地域における健康づくりをより盛んにしてみてもうどうでしょうか。それと同時に、新しくスポーツ施設を建てたり、もっと多くの方にスポーツに関心を持ってもらえるように、スポーツ教室の開催状況を市のホームページや広報誌、LINEなどのSNSを通じて、さらに盛んに発信したりしてほしいです。</p> <p>以上の意見をふまえ、質問をします。</p>
質問	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後、新しいスポーツ施設を建てる予定はありますか。 2. これから生涯スポーツ社会の実現に向け、子供から年配の方まで楽しむことのできるさまざまなスポーツ教室を開催する予定はありますか。

学生議会 質問通告書

【中学校名：佐久島しおさい学校】

氏 名	ほそかわ き さ 細川 希咲	学年等	2年 1組
-----	-------------------	-----	-------

テーマ	誰もが考え、行動できる西尾市にするために
現状や課題 意見・提案事項	<p>今日、この学生議会には各中学校の代表の生徒が集まっています。私は、この学生議会のように各校の代表が集まって、それぞれの学校が抱える問題や地域にかかわる課題について話し合い、考える場を設けていただけたことをとてもうれしく思っています。</p> <p>なぜなら、この議会では、学生である私たちが西尾市の今や未来を一人一人が真剣に考え、5年後、10年後の西尾市を今よりももっと素晴らしい街、住みやすい街にするにはどうしたらよいか、自分たちの考えや思いを発信することができるからです。また、そうした仲間の様々な思いや現実的な西尾市としての考えに触れることで、今まで以上に視野を広げることができるからです。</p> <p>そして、こうした西尾市の様々な課題を自分事として考えていくことが、中村市長が言われる「ONE NISHIO ～チーム西尾市で心一つに～」につながっていくのだと思います。</p> <p>そこで、私に取り上げたいと考えた身近な課題が、佐久島しおさい学校のことです。</p> <p>私は、佐久島しおさい学校に、毎日船で通う「しおかぜ通学」をしています。</p> <p>学校では、島の人たちと一緒に活動することが多くあります。海の環境を守るアマモボランティアや島の古墳を守るボランティアなどです。ボランティアをきっかけに、地域の方との交流が生まれ、様々な学校での活動に協力していただいています。また、佐久島全体に目を向けると、漂流ごみや外来生物などの様々な環境問題があります。私は、外来生物であるヌートリアや佐久島の自然環境の変化などの問題について追究しています。自分事として、問題と真摯に向き合い、考えることで、行動力や決断力、発表する力も身に付き、多くのことが学べる学校だと思っています。またこのように、佐久島と学校とのつながりが深まることで、佐久島の地域活性化につながっていると考えます。</p> <p>しかし、そんな学校も、佐久島の少子高齢化がこのまま進み、島に住む若い人たちが減っていくと、新入生がいなくなってしまう。実際、今0才～5才の子供は2人しかいません。子供たちがいなくなれば、学校がなくなってしまう。そんなことになったら、</p>

	<p>この島自体の活気が失われることでしょうか。私がこの学校で生活する中で、たくさんの島の方々と交流してきました。佐久島太鼓を学んで、お祭りで披露したり、運動会や学芸会では、島の人たちと一緒に楽しい時間を過ごしたりしてきました。島の人たちにとってもこの学校はなくてはならない場所であり、私たちにとっても島の人たちは、なくてはならない存在です。</p> <p>そこで学校がなくならないためには、佐久島しおさい学校に興味をもってもらうことが大切だと思いました。例えば、幼稚園や保育園に佐久島しおさい学校の良いところを自分たちでまとめたチラシを配ったり、実際に私たちが学んだことを発表し、聞いてもらったりすることで、佐久島に通ってみたいな、と思ってもらえるのではないかと考えました。</p> <p>佐久島の未来、その中心にあるわが母校がなくならないためにどうすればよいのか、市長さんや教育長さんも一緒に考えていただけませんか。</p> <p>そこで、私にとって大切な佐久島のことについて質問します。</p>
<p style="text-align: center;">質 問</p>	<p>1 佐久島に学校があることで、佐久島の良さを学び、発信することができています。今後、佐久島しおさい学校がなくならないために、西尾市としてどのように考えていらっしゃるのか、お聞かせください。</p> <p>(再質問)</p> <p>西尾市としても、佐久島の人口を増やすような取り組みを積極的に行っていただけませんか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：鶴城中学校】

氏 名	ほんだ たいち 本多 太一	学年等	2年 9組
-----	------------------	-----	-------

テーマ	西尾市民の憩いの場について
現状や課題 意見・提案事項	<p>僕は、市内に西尾市を象徴する、市民の憩いの場となる公園が少ないと感じています。市内に小規模公園はいくつもありますが、碧南市の臨海公園や、安城市にあるデンパークのような大規模な公園、緑地といえるのは「愛知こどもの国」のみです。しかし、その愛知こどもの国も、市街地からのアクセスや利用しやすさなどを考えると、憩いの場所として十分な役割を果たしているとはいえません。</p> <p>その一方で、「第7次西尾市総合計画後期計画」には、『公園の整備』が計画の一つとして挙げられています。</p> <p>憩いの場を整備するのであれば、今後、西尾市を象徴する大規模な公園を造るべきではないでしょうか。休日、家族で近場に遊びに行きたい、そんな時にも大きな公園があると便利です。また、子育ての面でも助かります。今の世の中、スマートフォンやゲームを触ってばかりいて、ひきこもり状態な子どもも増えていると思います。子どもの健康や安全のために、思い切り体を動かせる場は近くに必要です。誰もが利用しやすい公園があれば、子育ての面などでも助かるため市への信頼も高まり、住み続けたいと思える市民も増えるのではないのでしょうか。他の市を真似するのではなく、西尾市にしかない良さをもった大規模な公園を造って欲しいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 第7次西尾市総合計画後期計画に『公園の整備』とありますが、具体的にどのような計画があるのでしょうか。</p> <p>2 安城市にあるデンパークは、ソーセージを前面に出しています。西尾市にも「西尾の抹茶」をテーマとした、大規模な公園を造りませんか。</p> <p>(再質問)</p> <p>市民の憩いの場として、抹茶を楽しめるような施設についてはどうですか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：一色中学校】

氏 名	さ さ き せ な 佐々木 聖流	学年等	2年 5組
-----	---------------------	-----	-------

テーマ	安心安全な一色町
現状や課題 意見・提案事項	<p>僕は、西尾市、特に一色町で、課題と思っていることは、3つあります。</p> <p>1つ目は、防災についてです。一色町は地震発生時、海から最も近く津波が来ると言われていて、とても危険だと感じています。そんな一色町に、津波避難タワーが生田地区と千間地区の二か所に建設されていますが、いつ発生するか分からない地震に対して少しでも安心できるように、もっと数を増やし、速やかに建ててほしいと思っています。</p> <p>2つ目は、環境についてです。僕の通学路では、多くのごみが落ちています。防犯の観点からいたるところにごみ箱を設置することは難しいと思います。しかし、コンビニなど地域のお店や公民館などの公共施設と連携して、その場所に防犯を意識した安心して捨てられる市民用ごみ箱を設置すれば、ごみのポイ捨ては減ると思います。</p> <p>3つ目は、「いっちゃんバス」の利用状況です。本当に少ないように感じます。200円で自由に一日乗車でき、一色町内を回れるのは便利だと思います。ならば、一日4便のうち一色町公民館から最後に吉良吉田駅、福地駅へ交互に行くことはできないでしょうか。僕たち中学生は、自転車で一色町内は移動できます。しかし吉良吉田や福地へはなかなか行ける距離ではありません。そういった観点からもよく利用する駅を追加することができれば、名鉄電車の利用者が増加し、にしがま線の存続にもつながると考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者や体の不自由な方は津波避難タワーまでどのようにして避難しますか。 2 2つ目に提案した市民用ごみ箱設置は、実現可能でしょうか。もし不可能であれば、どのような方法でポイ捨てされるごみを減らそうとお考えですか。 3 実際の「いっちゃんバス」は市の考えている利用状況になっていません。運転免許を持たない方や10代の若者などが利用しやすいように、行き先に駅を追加したり増便したりすることはできるでしょうか。

学生議会 質問通告書

【中学校名：幡豆中学校】

氏名	やまもと のぞみ 山本 希美	学年等	2年 2組
----	-------------------	-----	-------

テーマ	暮らしやすい街づくりについて
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は、自分の住んでいる幡豆町がとても好きなので、将来もずっとこの町で住み続けたいと考えています。しかし、幡豆小学校の1年生が今年度1クラスになるなど、人口がどんどん減ってしまっています。今後、電車がなくなってしまうたり、学校が減ってしまったりして、住みづらくなってしまうのではないかと考えることがあります。将来、自分が住み続けるにあたって、便利で暮らしやすい町であってほしいと思います。</p> <p>昨年度、総合的な学習の時間に防災の学習を行い、私は「二次災害」をテーマに調べ学習を進めました。調べ学習を進める中で、地域の防災について考えてみました。最近では、空き家が増えていると聞いたことがありますが、今、私の家の近くにも、住む人がいないのに解体されず、崩れそうな空き家が何件もあります。このままでは大雨、土砂災害などで、より大きな被害が出てしまう心配があります。空き家などは危険なので、それを解決するために、空き家のリノベーションや再利用をして、町民のつどいの場を作って地域の人が交流できる場所にすると思います。</p> <p>また、将来も幡豆町に住み続けるにあたり、西尾駅や蒲郡駅に行くための交通手段の「にしがま線」が今後も存続されるのか不安です。令和7年までは存続するとニュースで見ました。しかし、それから先も車がなくても行動できるように、「にしがま線」が存続してほしいと思います。また、もし廃線になった場合は、電車の代わりになるバスなどの交通手段があってほしいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質問	<p>1 空き家について、どのような対策や有効活用をしていきますか。また、土砂崩れなど災害時に危険な場所にある空き家は、より大きな被害を出さないためにどのように対策をしていきますか。</p> <p>2 今後の「にしがま線」の存続状況について教えてください。また、もし「にしがま線」が廃線になった場合、それに代わる公共交通機関として、西尾駅や蒲郡駅に向かうバスなどの運行についてどのように考えますか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：寺津中学校】

氏名	みやち えいた 宮地 瑛大	学年等	2年 1組
----	------------------	-----	-------

テーマ	西尾市の未来について
現状や課題 意見・提案事項	<p>僕は、西尾市に生まれ、西尾市で育ってきました。その中で、西尾市がもっとこうだったら、これからこうなっていくといいなと思うことが何点かあります。</p> <p>1つ目は、西尾市には園児や小中学生が遊べる施設、様々な職業体験につながる遊びや体験ができる施設がないということです。</p> <p>例えば、豊橋市には「こども未来館ここにこ」のような室内で遊んだり、いろいろな体験ができる総合施設があります。また、田原市にも「ララグラン」という大きな施設があります。</p> <p>西尾市がより子育てしやすい街になっていくように、このような施設が今後できるといいなと思います。</p> <p>2つ目は、西尾市の魅力を市外、県外にもっと発信していけたらいいなと思います。</p> <p>例えば、マンホールのふたを西尾市の魅力にあふれたデザインにしたらどうでしょうか。西尾市の名産品や西尾市ならではの建物などをデザインしたら、他地域からの観光客誘致につながるのではないのでしょうか。</p> <p>3つ目は、防災についてです。昨年度、寺津中学校1年生は防災について1年間学んできました。その中で名古屋市港防災センターを訪れて、多くの知識を得たり、1人1人が考えて自分の防災バックを作ったりしてきました。</p> <p>西尾市にも1.8億円をかけて防災センターが建設されたという記事を新聞で見ました。今後、西尾市防災センターの取り組みを発信することで、家族で防災会議を開くなど、各家庭の防災意識が高まるきっかけになるといいなと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質問	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後、豊橋市の「こども未来館ここにこ」のような施設を建設する予定はありますか。 2 マンホールのふたのデザインを工夫して西尾市の魅力を外に発信していく方法について、どのように考えますか。また、マンホールのふたの活用以外に、西尾市では観光客を誘致するためにどのような取り組みをしていますか。 3 防災について、西尾市防災センターを今後どのように活用し、市民の防災の取り組みへとつなげていこうと考えていますか。

学生議会 質問通告書

【中学校名：福地中学校】

氏 名	こまつ いさな 小松 勇夏	学年等	2年 1組
-----	------------------	-----	-------

テーマ	歴史の保全
現状や課題 意見・提案事項	<p>この秋、僕は授業で、西尾市の歴史的建造物の保全について考えました。学習を進める中で、現在の井桁屋公園の場所には、大正時代に建てられた旧井桁屋という百貨店があったことを知りました。終戦後閉店し、百貨店としての機能を失った後も、文化的な価値を理由に、建物は存続を続けました。しかし、中央通りの拡幅工事や、存続させた場合にかかる費用を理由に、2006年3月には完全に取り壊されました。</p> <p>当時の地方紙を複数読んで調べたり、仲間と話し合ったりする中で、存続を望む市民の想いはくみ取れた一方で、存続がいかに困難だったかを学びました。拡幅工事で市民が得られるメリットの多さ、市の予算対象は多岐に渡り限りがあること、当時の市債の額を考えれば、妥当な判断であったと考えます。</p> <p>歴史の保全の意義とは何かを考えさせられました。保全の意義で真っ先に浮かんだのが、観光客等による経済効果です。西尾市の統計を調べてみると、令和元年度、多くの観光客を集めていたのは、福地の「憩いの農園」や「道の駅にしお岡ノ山」、「一色さかな広場」でした。これらは、どれも買い物等で日常的に利用できる施設です。一方、西尾市の文化財を調べると、国宝が1件、国指定の重要文化財が9件、県指定・市指定ではさらにその数は多いことが分かりましたが、いずれもどれほどの経済効果があるかは読み取れませんでした。なぜなら、これらは無料で、誰もが気軽に立ち寄れるからです。経済効果という視点だけでは、保全の意義を語れません。</p> <p>そこで、僕が考える歴史の保全の価値と、今後の保全・活用のあり方を提案します。</p> <p>保全の価値とは、歴史を介した交流にあると考えます。車窓からも見られる西尾城の外壁。実際、ある保護者の方は息子さんと西尾城付近を運転中、息子さんから突然、「あの穴を使って鉄砲や弓矢で攻撃したんだよ」と話しかけられたそうです。そこからしばらく歴史の話題に花が咲きました。祖父母と孫、地域のおじさんと子どもなど、文化財付近では数々の会話が生まれています。今年2月新たに文化財に指定された「吉良家墓所」では、見学会や講演会が行われています。これもまた市民同士のコミュニケーションの場です。歴史の保全とは、人同士をつなぐ基盤として価値があります。</p>

	<p>保全・活用については、思い切って有料化を進めることを考えています。京都の世界遺産と違い、有料化により人が来なくなるのではないかという不安もありますが、僕が考えるのは、敷地の一部を有料化にしたり、期間限定の催し物を企画した時に有料化したりする考え方です。先日、西尾城では、西尾藩鉄砲衆秋の軍事訓練が行われました。とても迫力がある催しです。例えば、特別に抹茶付きでふるまう観覧席を設ければプレミアム感が出て、十分に集客は見込めるのではないのでしょうか。むしろ、多くの人から注目されるきっかけとなり、さらなる賑わいにつながると考えます。このような取組は、他の文化財施設でも、十分に可能であり、その収益を歴史的建造物の保存にかかる費用に充てることはどうかと考えています。そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 西尾城など文化財付近で、市として、特産品や関連商品を販売すれば、保全・活用の費用に充てられると考えますが、市としてこのような活動を行いませんか。また、行うことが難しい場合、どのような理由で難しいと考えますか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：東部中学校】

氏 名	にいのみ 新家 ゆうな 侑奈	学年等	2年 A組
-----	----------------------	-----	-------

テーマ	西尾市の環境美化について
現状や課題 意見・提案事項	<p>私が自転車に乗っているときに、一番気になるのは「ポイ捨て」されたゴミです。川の中にお菓子のビニル袋が落ちていたり、道端にたばこの吸い殻が落ちていたりします。ひどい場合は、段ボールやビン、缶まで落ちています。また、最近のニュースで、落ちているゴミを動物などが食べてしまい、問題になっていることを知りました。</p> <p>そして、「ポイ捨て」は減ることがなく、年々増えています。その原因の一つとして、テイクアウトできる店が増えたため、紙コップなどの容器がポイ捨てされているそうです。</p> <p>自分が考えた中で、「ポイ捨て」をする理由として、「ポイ捨てることは悪いこと」という認識が甘い人がいるからだと思います。</p> <p>そこで、「ポイ捨て」をしないことが当たり前になるように、主に学生や小さいお子さんを持つ家庭を対象に「ポイ捨てが及ぼす影響」について、詳しく伝える機会を設けるのはどうかと考えました。新しくポスターなどを作成したり、市の職員の方たちが学校に訪問して講演会を開いたりしてはどうでしょうか。</p> <p>「ポイ捨て」について考えることは、SDGsの目標の中の11番、「住み続けられるまちづくりを」にも関わってくると思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 今までに、「ポイ捨て」についてのポスター作成や、講演会を開いたことはありますか。</p> <p>2 「ポイ捨て」の現状について、どのように考えていますか。また、これからどのように取り組んでいきますか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：西尾中学校】

氏 名	さかきばら 榊原 琉意	学年等	2年 5組
-----	----------------	-----	-------

テーマ	市民の健康意識を高めるために
現状や課題 意見・提案事項	<p>今日では、授業でタブレットを使用したり、スマートフォン一つあれば買い物や仕事ができちゃったりと、とても便利な時代になりました。その一方で、多くの市民がスマートフォンやタブレットを持ち、さらにSNSが普及したことで長時間使用するようになり、外出して体を動かす機会が少なくなっています。そのため、健康面でさまざまな問題が起こることが予想されます。</p> <p>僕は、外で体を動かすことで、体力の向上が期待でき、健康な市民が増えると思います。そのため、市民が外へ出たくなるような活動を行ってみてはどうかと考えました。例えば、「西尾スタンプラリー」と題し、西尾市の有名な場所をチェックポイントにしてウォークラリーを行います。2019年に行われた「西尾ぐるっと！ロゲイニング」のように、制限時間を指定し、時間内により多くのチェックポイントを回ることができたチームを表彰します。これは、市民の健康意識を高めるだけでなく、西尾市を知ることもつながります。また、地域のイベントに参加することでポイントがもらえ、そのポイントが市内の複合商業施設で使うことができるようになると思います。</p> <p>令和4年3月6日には、西尾市で初めてのフルマラソン「にしおマラソン」が開催されると聞きました。そのような市民の健康意識を高める地域のイベントを企画し、なおかつ参加者には、ポイントを還元するなど西尾市民を巻き込んだ活動をしてはいかがでしょうか。このような活動に、僕たち中学生も実際に参加するだけでなく、運営側にボランティアとしても参加できればと思います。市民の健康意識が向上し、地域のイベントに多くの市民が参加することは、僕たちの幸せにもつながります。きっと、魅力があるイベントを開催すれば、参加者が増え、西尾市民の健康意識が高まると思います。また、市民の健康は、西尾市の活性化にもつながると考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<ol style="list-style-type: none"> 現在の市民の健康状況をどのように捉えていますか。 西尾市民の健康意識を高め、西尾市を活性化させるために、どのような地域のイベントを企画し、どのように行っていこうと考えていますか。